

会議結果概要書

1 会議名	令和5年度第1回名寄市上下水道事業経営審議会
2 開催日時	令和5年7月31日（月）午後6時30分から午後8時15分まで
3 開催場所	駅前交流プラザ「よろーな」1階 中会議室A・B
4 委員	大野会長（○）、山上副会長（○） 橋場委員（×）、栢山委員（○）、臼田委員（○）、伊豆倉委員（○）、 木田委員（○）、菊池委員（○）、藤島委員（○）、小林委員（○） ※委員10人中9人出席
5 事務局	東建設水道部長、佐藤上下水道室長（兼建設水道部次長）、有門工務課 長、池田浄水場長、大沼下水処理場長、成毛業務課長、小笠原業務課主 査、坂上業務課主査、成田業務課主査、中島業務課主査
6 議題等	報告1 上下水道事業経営状況について 協議1 水道事業投資・財政計画検討に向けて
7 会議結果	○報告1 上下水道事業経営状況について ・各事業の概要、令和4年度決算、令和5年度予算を報告する。（水道事 業・下水道事業） ○協議1 水道事業投資・財政計画検討に向けて ・令和6年度以降の郊外地区の水道拡張事業を凍結し、浄水場施設設備改 修を最優先とするなどの事業見直しと、それに基づく投資・財政計画案 の作成を提案し、了承された。 ※主な質疑・意見等については別紙1のとおり

令和5年度第1回名寄市上下水道事業経営審議会 主な質疑・意見等

○報告1 上下水道事業経営状況について

問 マンホール蓋の更新時期について、冬期間での更新ではなく、夏の時期に更新はできないのか。

答 マンホール蓋の更新は、国の補助金を活用して実施している。その補助金を全て有効的に活用したいことから、どうしても他の工事が終了した後に、更新となるために更新時期が遅くなってしまう状況ですのご理解願います。

問 マンホール蓋を更新後に、除雪等で道路が凸凹になってしまう箇所がある。そうならないような対応と道路の凍上対策もお願いしたい。

答 マンホール蓋の更新の影響で、道路が凸凹になった場合は、早急に修繕をさせていただいております。また、除雪業者に対して、マンホールを引っ掛けないように更なる周知を図ってまいります。道路の凍上については、どうしても予測できない部分がありますが、少しでも抑えられるように対応を進めておりますのご理解願います。

問 水道管の敷設は、道路の両側で計画的に実施しているのか。

答 水道管の敷設は、道路の両側に敷設することが理想ですが、両側に敷設すると、当然2倍の費用がかかり、莫大な予算がかかります。また、市街地において、まだ家の前にすら水道管が入っていない場所もあるため、そちらを優先に片側だけを敷設するように整備を進めている状況でございます。

○協議1 水道事業投資・財政計画検討に向けて

問 郊外地区の拡張工事を凍結したいとなっているが、対象地区の住民ニーズはどうなっている

答 まず、投資財政計画の検討についてですが、浄水場施設設備の更新、老朽化が進んでおりますので、安心安全な水を継続的に提供するには、施設を改修するのが最優先であり、電気設備は止まった場合、水自体が作れなくなり、配水できなくなりますので、そこをまず、緊急的に進めさせていただきたいというのが一つです。次に、郊外地区の事業については、今のところ、令和15年以降に工事を開始できるように、現状の施設改修を先に進めさせてほしいということで、それをもって検討するために、委員皆様の了承を得たいというのが内容です。また、対象地区の住民に対して、お話を聞く機会がありまして、水道がいつくるのかという方もいらっしゃるの事実ではあります。しかしながら、現状として、水道料金が上がるというものもそうですし、莫大な工事費が当時よりも2倍3倍の工事費がかかるというのも、ご理解いただいた中で、様々な意見を交換しているところです。今でいくと、10年先に工事を延ばさないと現状の水道料金を2倍3倍上げないと、経営できない状況でありましたので、事業見直しをした後に、緊急に対応する対応策も考え

ながら、対象地区の方と改めて話を進めていきたいと考えております。したがって、現状の水道料金をどうしていくかという考えも、進めるために、この拡張事業の凍結を、今回考えながら、次回以降の審議会の中で、料金をどうするかを、皆さんにご審議いただきたいと考えております。

問 水質検査の項目を減らして経費削減はできるのか。

答 水質検査の項目は、水道法の規定に基づいて実施しております。したがって、項目を減らすことは不可能であります。

意 浄水場施設設備更新は必要である。今のウクライナ情勢から考えると、電気設備の更新にしても、非常に費用が割高になってしまうのではないかと危惧している。そのため、必要以上の経費をかけないで、今後の経営戦略を進めてほしい。

意 施設の老朽化による改修や人口減少で水道料金が上がるのは当たり前だと思うが、市民からすると、やはり水道料金を上げてほしくないというのが一番だと思う。そのため、拡張事業の凍結はご理解いただくしかないと思う。